

科目ナンバー	ARS-1-011-k	科目名	多文化共生社会I		
教員名	西館 崇	開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2
概要	いま、私たちが住む世界は、世界中から人、もの、カネ、情報が私たちに集まり、同時に私たち自身や私たちのもの、カネ、情報も世界中に出ていくというグローバル化した社会です。グローバル化した世界では、予想もしない所につながりができることもあれば、価値観・文化などの違いにより誤解や葛藤が生じることもあります。本授業は、1年生を中心とする入門授業として、生活に密着した素材を取り上げながらグローバル化した社会の仕組みを理解すること、また、違う者同士が同じ地域、同じ国、同じ地球で平和に暮らしていくために私たちに必要な視点・行動は何かについて、グループワーク・議論をしながら一緒に探っていきます。				
到達目標	次のことをこの授業の目標をします。①グローバル社会にある多様な問題を理解すること。②移住者、外国人、少数多者、弱者などを含む多様性のある社会についての視点をすること。③初めて会う人たちとも、テーマについてコミュニケーションをとりながら自分の意見が出せること。④授業で取り上げ学習したことや自分の意見などについて、まとめて口頭で発表できること。⑤授業で取り上げた内容や他の情報も含めて振り返り、文書で表現できること。				
「共愛12の力」との対応					
識見	自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力
共生のための知識	○	自己を理解する力	○	伝え合う力	○
共生のための態度	○	自己を抑制する力		協働する力	
グローバル・マインド		主体性		関係を構築する力	
教授法及び課題のフィードバック方法	毎回の授業はおおよそ次の3セッションで構成し、実施します。①一つのテーマについて、まずは資料を基に教員側が話題提供をする形で一緒に理解していきます。②その後、グループごとに議論したり、ワークを行いながら、自身の具体的な生活へと応用して理解を深めていきます。③グループの議論・ワークの結果や個々人の意見を全体で発表しながら振り返りつつ、全体交流・意見交換・討論を行います。				
アクティブラーニング	○	サービ斯拉ーニング		課題解決型学修	
受講条件 前提科目	アクティブラーニングの形の授業なので、定員を70名とします。定員を超えた申込がある場合の優先順位は次の通りです。①国際コース1年 ②心理・人間文化コース1年 ③他コース1年、国際・心理2年、④国際コース3・4年、⑤他コース3・4年。				
アセスメントポリシー及び評価方法	通常授業のグループワーク等への取組(ワークシートやミニ感想文、発表など):(30%)ミニ課題(必要に応じて文献要約やミニ意見文などの課題):(30%)期末レポート(与えられたテーマの中から各自一つのテーマを選び、レポートを作成):(40%)				
教材	西館崇・大嶋果織・本堂晴生(2019)『群馬で学ぶ多文化共生』上毛新聞社。 ISBN: 978-4-86352-236-7				
参考図書	『国際コミュニケーション:地球規模でつながる』平山修平 実教出版 2016年「多文化共生キーワード事典」多文化共生キーワード事典編集委員会 明石書店 2004年「多文化共生のためのテキストブック」松尾知明 明石書店 2011年「ヘイトスピーチとは何か」師岡康子 岩波書店 2013年				
内容・スケジュール					
1週目					
授業学修内容	シラバス授業:授業ガイダンス授業の概要と到達目標、スケジュール、評価方法、関連資料等について、シラバスに基づき解説する。				
授業外学修内容					時間数
2週目					
授業学修内容	地球規模のコミュニケーション:地球規模のコミュニケーションと地球規模でコミュニケーション力をきたえることの概要をまなびます。また、ワークを通じて自分がイメージする世界を捉え、さらに視点を広げていきます。				
授業外学修内容	テキストの第1章及び配布した資料を読んでくる。関連する新聞記事を探して授業時間に持ってくる。				時間数
3週目					
授業学修内容	アイデンティティ:グローバル化した世界では、さまざまな人々がいろいろなアイデンティティを持ってコミュニケーションしています。まずは、アイデンティティのことばの意味を理解した上で、社会的アイデンティティの一つであるナショナル・アイデンティティの働きを見ていきます。				

授業外学修内容	テキストの第2章を読んでくる。また、友達・知り合い等のなかで、国際結婚をした夫婦の子どもとして生まれた人、外国から移住してきて日本に住んでいる人、中国系日本人、在日韓国人などの様々な立場の人に、生活における「自己、民族、国民」などについてどんな感覚を持っているか聞いてみる。	時間数	1
4週目			
授業学修内容	マス・メディアと認識のずれ: 私たちが地球規模の問題を認識する仕方に重要な役割をはたすマス・メディアについて学びます。情報の送り手と国民がどのような価値観や認識を共有しているかについて見ていきます。		
授業外学修内容	テキストの第3章を読んでくる。また、世界の主要通信社、放送局などを調べてみましょう。	時間数	1
5週目			
授業学修内容	移住と外国人材の活用: 外国人材を多数受け入れる場合、文化や習慣の違いからさまざまなコミュニケーションの問題が生じます。私たちはどのように外国人材を受け入れともに生活していけるのでしょうか。これらの問題について理解を深めていきます。		
授業外学修内容	テキストの第4章を読んでくる。日本に住んでいる外国人について書かれて新聞記事を探して持って授業に参加しましょう。	時間数	1
6週目			
授業学修内容	ゲストスピーカーの講演: 外国からの移民、留学生などを招待して、なぜ日本にきたのか、日本での暮らしについてはどのような感想を持っているのか、外国人にとって日本での生活の良さと問題点などは何かにいる話を聞く。		
授業外学修内容	配られたプリントを読んでくる。	時間数	1
7週目			
授業学修内容	統合あるいは多様性: 日本やアメリカの移民政策の流れを対照しながら、民族を統合することと多様性を生かすことの違いについて考えてみます。		
授業外学修内容	テキストの第5章を読んでくる。外国人材活用問題についての記事を探して授業に参加しましょう。	時間数	1
8週目			
授業学修内容	マイノリティ: マイノリティを含む多文化社会を考える。私たちの周囲の範囲で「マイノリティ」「異文化」をキーワードにしたとき、具体的にどのような人々の様子が捉えられるかについて考えてみます。		
授業外学修内容	各自、マイノリティ・異文化をキーワードに思い浮かぶ人々について、調べてみましょう。	時間数	1
9週目			
授業学修内容	スポーツと国際友好: スポーツを通じた地球規模のコミュニケーションの問題について考えてみます。国際競技に参加している選手やスポーツ大会を観戦する人々も相互にコミュニケーションしているとも言えます。スポーツにおけるナショナル・アイデンティティの高まりはどのような影響を与えるのかについて考えてみます。		
授業外学修内容	テキストの第6章を読んでくる。また、日本で活躍する外国人選手や外国で活躍している日本人選手を思い浮かべ、その選手たちについてどのような考えを持っているか考えてみましょう。	時間数	1
10週目			
授業学修内容	グローバル・ビジネス: 経済活動のグローバル化が進むなかで、企業が対応してきた方法について見ていきます。また、グローバル・ビジネスで成功した企業の広告の特徴について考えます。		
授業外学修内容	私たちが利用しているグローバル企業にはどんな企業があるのか、自分とはなぜその企業の商品を利用しているのか、考えてみましょう。	時間数	1
11週目			
授業学修内容	「異文化」「コミュニケーション」という視点で分析的に映画を見てみましょう。映画のストーリーを楽しむのではなく、コミュニケーションの仕方、物の配置の仕方、良し悪しの判断の基準などに焦点を当ててみることによって異文化を捉えてみます。		
授業外学修内容	事前に映画のストーリー等については、理解しておきましょう。	時間数	0.5
12週目			
授業学修内容	ゲストスピーカーの講演日本で働いている外国人をお招きして、日本でビジネスをしていく上での良さと困難な点などについてお話を聞いてみましょう。		
授業外学修内			

容	日本で働いている外国人の記事を調べてみましょう。	時間数	1
13週目			
授業学修内容	事前に与えられたテーマのうち一つを選び、地域の中で見つかる多文化を探しレポートを作成して、授業でグループごとにグループ内の発表会をします。		
授業外学修内容	自分のテーマについて、直接地域を歩きながら調査をし、レポートにまとめる。	時間数	10
14週目			
授業学修内容	前回のグループ内発表から、よくできた作品に関して、全体の前でもう一度プレゼンテーションする。		
授業外学修内容	全員の前でプレゼンテーションをする人は、各自PPTファイルを作る。	時間数	2
15週目			
授業学修内容	まとめ。全体を振り返り、多文化共生のためのポイントについて考察を深めます。		
授業外学修内容		時間数	
上記の授業外学修時間の合計		22.5	
その他に必要な自習時間		67.5	

Number	ARS-1-011-k	Subject	Multi-Cultural Symbiotic Societies I		
Name	西舘 崇(Nishitate Takashi)	Year and Semester	First semester for 2020	Credits	2
Course outline	<p>We live in a globalized world today, where people, goods, money, and information from across the globe are gathered in front of us. We ourselves, our goods, money, and information are also sent out for the world to consume. In such a globalized world, we may enjoy the blessings of unexpectedly connecting with others, but may also encounter prejudice and hostility due to differences in values and culture. This introductory course aims to serve mainly students in their first year, to understand the structure of a globalized world through studying various examples in our day to day lives. Also, through groupworks and discussions, we will examine together the viewpoints and actions required from us in order to actualize a peaceful coexistence amongst differing people living in the same land, country, and planet.</p>				